

釜石発

新巡視船「きたかみ」

釜石海上保安部に新たに配属される巡視船「きたかみ」がお披露目されました。先月退役した旧「きたかみ」に代わり、新たに建造されました。総トン数



650トン、長さ72メートルの船で、水を噴射して進むウォータージェット式の推進装置を備えていて高速で航行できます。

あわせて暗視カメラなど最新の監視装置も装備されています。(3/17 ニュース)

宮古発

三陸沿岸道路一部開通

被災地の復興を後押しする基幹道路として整備されている三陸沿岸道路のうち、宮古市の田老真崎海岸インターチェンジと岩泉町小本地区の岩泉龍泉洞インターチェンジの間10キロが開通しました。この区間は津波浸水域を回避し最短ルートを通ることで国道45号を通るルートに比べて距離が6キロ短縮されました。(3/21 ニュースエコー)



盛岡発

三陸防災復興プロジェクト

沿岸12市町村と住田町を会場に震災からの復興や防災の取り組むイベントの名称が「三陸防災復興プロジェクト2019」に決まりました。開催期間は、

来年6月1日から8月7日までの68日間。具体的には釜石市での開幕式典を皮切りに、復興の取り組みをテーマ



としたシンポジウムや三陸地域の伝統芸能などが予定されています。(3/23 ニュースエコー)

陸前高田発

名称は「津波伝承館」

東日本大震災と津波の教訓を後世に伝えるため、岩手県が陸前高田市に建設する伝承施設の正式名称が「東日本大震災津波伝承館」に決定しました。この施設は高田松原津波復興祈念公園の中に建設されるもので、1階建てで広さは1400平方メートル余り。

「いのちを守り、海と大地と共に生き

る」をテーマに複数のエリアに分けて被災した車や駅の看板などが展示される予定です。(3/26 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの久保田祥子さんが、今月10日から運行を再会した「みやこ浄土ヶ浜遊覧船」について伝えてくれました。この遊覧船は、浄土ヶ浜の船着場から出発し宮古湾の名所を約40分めぐる観光船で、昨年11月から船の整備のために運休していました。船の上からは三陸ジオパークの絶景ポイントを眺めることができ、ウミネコパンでウミネコに餌付けをすることもできます。久保田さんは「たくさんの人に宮古を訪れてもらい、遊覧船を楽しんでほしい」と話していました。(3/21)

大船渡発

さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが、開局5周年記念のイベントについて伝えてくれました。4月5日は午後9時から3時間の生番組を放送するという事です。15日には「桃栗3年ねまって5周年!!笑いと涙の大大感謝祭」というイベントが、キャッセン大船渡で行われます。田村さんは「楽しい企画をたくさん用意していますし、近くにはいろいろな飲食店もあります。皆さんぜひお越しください。」と話していました。(3/28)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122